

■ 支 部 だ よ り ■	
---------------	--

北海道・東北支部のうごき

平成3年度の当支部総会は、将棋の駒生産地として名高い山形県天童市天童温泉の出羽路会館において、5月22～23日の両日にわたって開催された。

支部長代行として青森県環境保健センターの内山次長からの挨拶のあと、開催県を代表して山形県環境保健部次長から心暖まる歓迎の挨拶があった。

続いて、郡山市公害対策センターの全国公害研協議会への加入が平成2年11月の総会で承認されたむねの報告があり、同センターから挨拶があった。

次に、当支部規約に基づき山形県公害センター佐藤所長が議長に選出され、議事が進行された。

まず、青森県環境保健センター内山次長から平成3年4月25日に開催された全国公害研協議会第1回理事會概要が報告され、以下の議事に入った。

1. 平成2年度事業及び収支決算報告は、福島県衛生公害研究所の木村所長から監査報告のあと異議なく承認された。
2. 平成3年度事業計画案及び予算案についても同様に異議なく承認された。
3. 提案事項・情報交換については、大気関係8題、水質関係3題、ゴルフ場農薬関係6題、情報関係4題及び酸性雨関係3題に分類して以下討議が行なわれた。
 - ①ゴルフ場排水に係る農薬の残留実態調査について
 - ②大気常時監視に係るデータの交換について
 - ③酸性雨合同調査担当者会議開催地の持ち回りについて
 - ④酸性雨データ公表に際しての実施機関の了承について
 - ⑤ダイオキシン類の検査に係る対応について
 - ⑥ゴルフ場における大気中農薬調査について
 - ⑦情報処理体制と業務内容について
 - ⑧酸性雨の部会とワーキンググループ設置について
 - ⑨環境情報ネットワークについて
4. 役員改選については、下記のとおり承認された。

支 部 長	宮城県保健環境センター所長 佐々木 智 司 (新任)
副支部長	秋田県環境技術センター所長 長谷川 達 夫 (留任)
副支部長	山形県公害センター所長 佐 藤 孝 男 (新任)

5. その他

①酸性雨について

酸性雨合同調査結果(平成2年度梅雨期)については、各機関が行政と調整を行なったうえで、公表することとなった。

②次期開催機関について

総会、研究連絡会議及び統一精度管理会議の開催地は、平成5年度まで決定しているが、今総会において平成6年度開催地をそれぞれ北海道、新潟県及び宮城県と定めた。

③この他、全国環境衛生大会が岩手県において開催されること、環境庁幹部との懇談会結果等の報告がなされた。

以上、熱心に討議が行なわれ、午後6時すぎ散会となった。

翌朝、出羽路会館前で例年のとおり記念撮影の後、晴天のもと山寺へと向かった。山寺では、案内人の名調子と他観光客もいて、「しずかさや岩にしみ入る蟬の声」までとはいかなかったが、参加者一同新緑を満喫した。

さらに、芭蕉記念館の見学後、山寺を一望できる瀟洒なレストランで昼食をとり、2日間の総会を終了、後日の再会を約し、解散となった。

終わりに、総会までの諸準備、当日の運営、翌日の見学等にお世話になった山形県公害センターの所長さんはじめ職員のみなさまにお礼申しあげ、報告とします。
(北海道・東北支部長 佐々木 智 司)